



International **Bach**choir **2012**

in St.Nicholas' Church

ライプツィヒ・ニコライ教会

Mozart Requiem

モーツァルト／レクイエム

出演者募集要項



主 催：INTERNATIONAL BACHCHOIR

協 力：ジョイントコンサート国際委員会

The International Bachchoir は、現在のライブツィヒ・ニコライ教会音楽監督ユルゲン・ヴォルフ氏の提唱で2008年から企画実施されています。2009年にバッハの『ロ短調ミサ』、2010年にブラームスの『ドイツレクイエム』、2011年にベルディの『レクイエム』が250名のシンガーをドイツ内外から集めて盛大に実施されました。

ニコライ教会は1165年の建立以来、地元住民の祈りの場としてのみでなくライブツィヒやドイツ全土の歴史に大きく関わりを持ってきました。18世紀にはバッハもこのニコライ教会でヨハネ受難曲の初演演奏会を開き、さらに聖歌隊先唱者を務めています。1980年後半にはここでの Peace Prayers (平和集会) が規模を増し、平和の革命の波として東西ドイツの壁崩壊を導く大きな力となりました。このニコライ教会がまさにその中心地となりました。

これらの多くの歴史的な出来事はニコライ教会のモットーである『Open for all』から起きてきたものです。ユルゲン・ヴォルフ氏によるこの The International Bachchoir の企画も、その趣旨に従い世界中の人々が集い共に歌い繋がることを目的にしています。

【Aコース・Bコース 日 程 表】

	月日(曜)	都市名		時刻	交通機関	行動予定
1	11/21(水)	成田・中部 ライブツィヒ	発 着	午前 夕方	航空機 専用バス	A Bコース共通 成田または中部国際空港から出発 着後、ホテルへ 《①ライブツィヒ泊》
2	11/22(木)	ライブツィヒ				午前、ライブツィヒの市内見学    夜、シンガーリハーサル 《②ライブツィヒ泊》
3	11/23(金)	ライブツィヒ				午前、シンガーリハーサル 午後、自由行動  夜、バッハコアとの合同リハーサル《③ライブツィヒ泊》
4	11/24(土)	ライブツィヒ				午前、自由行動 午後、G P 17:00、『レクイエム』コンサート 【会場：ニコライ教会】【指揮：ユルゲン・ヴォルフ】 【共演：ライブツィヒバッハコア他・全250名】 終了後、交流会 《④ライブツィヒ泊》
A5	11/25(日)	ライブツィヒ	発	午前	航空機	Aコース 欧州内都市経由便で帰国の途に 《機中泊》
A6	11/26(月)	成田・中部	着	午前		
B5	11/25(日)	ライブツィヒ ↓ カルロヴィ・ヴァリ		午前 夕方	専用バス	Bコース バスで出発 シューマンの生まれ故郷ツヴィッカウ見学後、 ベートーベンやモーツアルトも訪問した温泉保養地 カルロヴィ・ヴァリへ 《⑤カルロヴィ・ヴァリ泊》
B6	11/26(月)	カルロヴィ・ヴァリ ↓ プラハ		朝 昼	専用バス	ドボルザークの故郷・モーツアルトゆかりの街プラハへ 向けて出発 着後、プラハ市内の見学（ドンジョンパニ縁の劇場、博 物館など） 《⑥プラハ泊》
B7	11/27(火)	プラハ				市内の見学と自由行動 《⑦プラハ泊》
B8	11/28(水)	プラハ	発	朝	航空機	Bコース 欧州内都市経由便で帰国の途に 《機中泊》
B9	11/29(木)	成田・中部	着	午前		

- ・渡航期間：Aコース 2012年11月21日(水)～11月26日(月)：6日間
Bコース 2012年11月21日(水)～11月29日(木)：9日間
*上記コース以外の先入り・延泊での参加はご相談ください。
*Aコースは参加20名以上で催行します。
*Bコースは参加10名以上で催行します。
- ・参加費用：渡航費、現地イベント参加費、国内練習費
成田発着・東京練習： Aコース 250,000円
中部発着・名古屋練習 Aコース 266,000円
Bコース参加追加費用(成田名古屋共通) *上記Aコース費用にプラス
10名以上の参加77,000円、15名以上の参加60,000円
*航空サーチャージ(約5-7万円)と昼食・夕食は含まれません。
*お支払いは参加申込時に4万円、渡航1ヶ月前に残金+サーチャージ
- ・参加資格：参加に際しては、資格・演奏経験は問いません。
青木洋也氏指導の国内練習(東京・名古屋)に可能な限りご参加ください。
- ・募集人数：東京・名古屋それぞれS/A15名程度、T/B10名程度(合計50名)
各パートごとに定員になり次第募集を締め切ります。
- ・参加取りやめ：①参加お申し込み後の取りやめの場合、現地コンサート参加権買取りのため申込金のうち7千円は返金できません。
②2012年9月22日以降は練習費用等が発生しますので、申込金のうち2万円は返金できません。
③出発1ヶ月前から上記②に合わせて取扱旅行社規定によるキャンセル料が発生します。

・参加応募方法及び締め切り

①別紙の申込書に必要事項をご記入の上、郵送またはファックスで 2011年11月1日以後に事務局まで送付してください。または e-mail にて申込書をご請求いただき、そちらに入力の上メールでご返送いただいても結構です。各パート定員になり次第申し込みを締め切ります。(11/1以前に到着の申込書は返送させていただきます。)

②申し込み受付後、関係書類をお送りします。書類に従い申込金をお振り込みください。申込金振込み確認をもって参加確定とします。

【申込み書送付先】ジョイントコンサート国際委員会事務局

〒164-0003 東京都中野区東中野 1-56-6 RAVINE22

Fax : 03-3459-5805 e-mail : jointcon@vesta.ocn.ne.jp

- ・国内練習日程 (場所は未定、参加申込者へ追ってご連絡いたします。)

指導：青木洋也

日	時	場 所	内 容
2012/9/22 (土)	18:30~21:30	東京	合唱練習
2012/9/23 (日)	9:30~12:30	名古屋	合唱練習
2012/10/20 (土)	17:00~21:30	東京	合唱練習並びに渡航打ち合わせ
2012/10/21 (日)	9:30~13:00	名古屋	合唱練習並びに渡航打ち合わせ
2012/10/27 (土)	18:30~21:30	東京	合唱練習
2012/11/10 (土)	18:30~21:30	東京	合唱練習
2012/11/11 (日)	9:30~12:30	名古屋	合唱練習

《指揮者プロフィール》

指揮者・音楽監督 ユルゲン・ヴォルフ



ウィーンで宗教音楽を研究、バッハの曲の演奏に情熱を傾けたが、1993年にライプツィヒのニコライ教会のオルガニストに迎えらる。オルガニストだけでなく作曲、管弦楽指揮、オルガンやチェンバロについての世界的権威であり、ラジオ、テレビ、CDでたくさん録音をしている。1999年にはパイロイト音楽祭で優れた作曲者に贈られる” Geistliches Lied” を受賞。

オルガン製作にも熱心で、ニコライ教会のオルガン復元には多大に貢献した。



青木洋也 カウンターテナー (国内練習指導者並びに現地ソロ)

1976年東京生まれ。桐朋学園子供のための音楽教室にてヴァイオリンを井戸玲子氏に、後に福山陽子氏に師事。一方、東京少年少女合唱隊のメンバーとしてルネッサンスの曲を中心に多くの合唱曲を、またボーイソプラノ歌手としてコンサート、レコーディングで多くのソロを歌う。

東京藝術大学大学院修士課程古楽科修了。エリザベト音楽大学大学院宗教音楽学専攻修了。在学中より定期的に渡欧して研鑽を積む。声楽を鈴木仁、宇田川貞夫、マックス・ファン・エグモント、野々下由香里、ペーター・コーイ、ゲルト・テュルク、ロビン・ブレイズの各氏に師事。J.S. バッハ『マタイ受難曲』『ヨハネ受難曲』『ロ短調ミサ』『クリスマス・オラトリオ』『カンタータ』、ヘンデル『メサイア』『デボラ』『テオドーラ』などの宗教曲のソリストを数多く務める。アイルランド・ダブリンやドイツ・ハレでの『メサイア』、ドイツ・ライプツィヒのニコライ教会での『ミサ曲ロ短調』『クリスマス・オラトリオ』等の独唱、2007年12月ダブリンにおいて日本・アイルランド外交関係樹立50周年事業の『メサイア』演奏会(P. オドウィン指揮)の独唱が絶賛されるなど、海外でも活躍の場を広げている。またバッハ・コレギウム・ジャパンのメンバーとして国内外の公演・録音に参加。近年は合唱指揮者としても高く評価されている。

「Bless B Quintet」「バッハ・コレギウム・ジャパン」「ヴォーカル・アンサンブル カペラ」メンバー。「早稲田大学・日本女子大学室内合唱団」「ヨハネス・カントーレス」「カルド・ムジカ」常任指揮者。「オルフ祝祭合唱団」「JVC合唱団」「東京スコラカントールム」合唱指揮者。日本キリスト教団聖ヶ丘教会員。日本リードオルガン協会会員。

・問い合わせ・参加申込み先



ジョイントコンサート国際委員会事務局

事務局：垣沼佳則（音楽交流コーディネーター）

〒164-0003 東京都中野区東中野 1-56-6 RAVINE22

電話：03-5425-2326 Fax：03-3459-5805

e-mail：jointcon@vesta.ocn.ne.jp

ホームページ：<http://www.jointconcert.com>